

えりも町

～漁業と観光を中心とした地場産業を守り育て、次世代へとつなげるために～



えりも町は、日高東部に位置し、豊かな水産資源と雄大な自然景観に恵まれた漁業と観光の町です。「風極の地」と呼ばれる日本屈指の強風地帯でもある。

関連指標	数 値
【人 口】	4,623 人
【面 積】	283.93 km ²
【出生数】	20 人
【世帯数】	2,128 世帯
【合計特殊出生率】	1.75

(出典：住民基本台帳 (R2.1.1), 人口動態統計 (R2))

1 町の特徴

- (1) えりも町の合計特殊出生率は1.75である。人口は平成27年(国勢調査)で4,906人と前回(平成22年国勢調査)からの5年間で9.3%の減少で、人口減少が進んでいる。
- (2) えりも町の基幹産業は、昆布やさけを中心とした漁業であり、就業者人口のうち約5割が漁業就業者である。

漁業就業者の年齢構成は、全道と大きく変わりはないが、昆布漁を中心に比較的安定した経営ができていることにより後継者を確保でき、この結果、全就業者のうち若年の漁業就業者率が高い傾向にあるのが特徴である。

2 町独自の少子化対策・子育て支援施策・移住定住施策等

- (1) 子ども医療費助成事業：中学生まで医療費の自己負担1,000円を超える場合に助成
- (2) すこやか赤ちゃん誕生祝い金：出生児一人につき3万円支給(第2子以降は2万円上乘せ)
- (3) 乳幼児健診事前問診：平成17年度より健診一週間前に保健師・歯科衛生士等による事前問診を実施
- (4) インフルエンザワクチン：0歳から高校生までの接種料無料
- (5) おたふくかぜワクチン：1歳から就学前の児までの接種料一部助成
- (6) 妊産婦健康診査等における交通費助成：妊産婦1人16回を限度に交通費の助成(道補助上乘せ)
- (7) 不妊治療助成：一般不妊治療(年齢制限なし、所得制限あり)、特定不妊治療(年齢及び所得制限なし)
- (8) 児童生徒の基礎学力向上を図るための中高一貫教育
- (9) 奨学金制度：高校→月額15,000円、大学・短大等→月額30,000円の無利子貸付

3 施策を実施するに至った背景及び今後の展望

自然豊かな海と大地こそが本町の誇れる優位性である。これを活かした漁業と観光を中心とした地場産業を守り育て次世代へとつなげることが、えりも町の持続的なまちづくりを可能とする。

そのために必要な人口規模の維持に向けて、あらゆる施策を展開しなければならない。

人口減少対策として二つの方向性が考えられる。

一つは出生率の向上により人口構造の若返りを目指す方策と、二つ目は転出を抑制し、転入の増加を図る方法である。

本町は、合計特殊出生率が道内トップの水準にあったため、これまでは出生数が増えることによる自然増が人口減少対策に及ぼす効果は限定的であったが、昨年の出生数が8人と激減している状況であるため、長期間続く社会減の克服だけでなく、少子化対策も今後のまちづくりの重要な課題となっている。

このため、即効性のみには捉われないことなく、長期展望に立った対策の展開が必要であり、各分野・各産業間の連動や連携といった横のつながりを持つことで、事業効果を上げる施策を構っていくことが重要である。

そこで、次の4つの基本目標を定め人口減少対策に取り組む。

○基本目標 1

まちに安定した雇用をつくる

地場産業の振興と 担い手の育成、新たな雇用・起業支援

○基本目標 2

まちに新たな人の流れをつくる

観光振興による交流人口の拡大、関係人口の創出・拡大

○基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育てがしやすい環境の整備

○基本目標 4

安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる

地域防災力の向上、町民参加と協働づくり